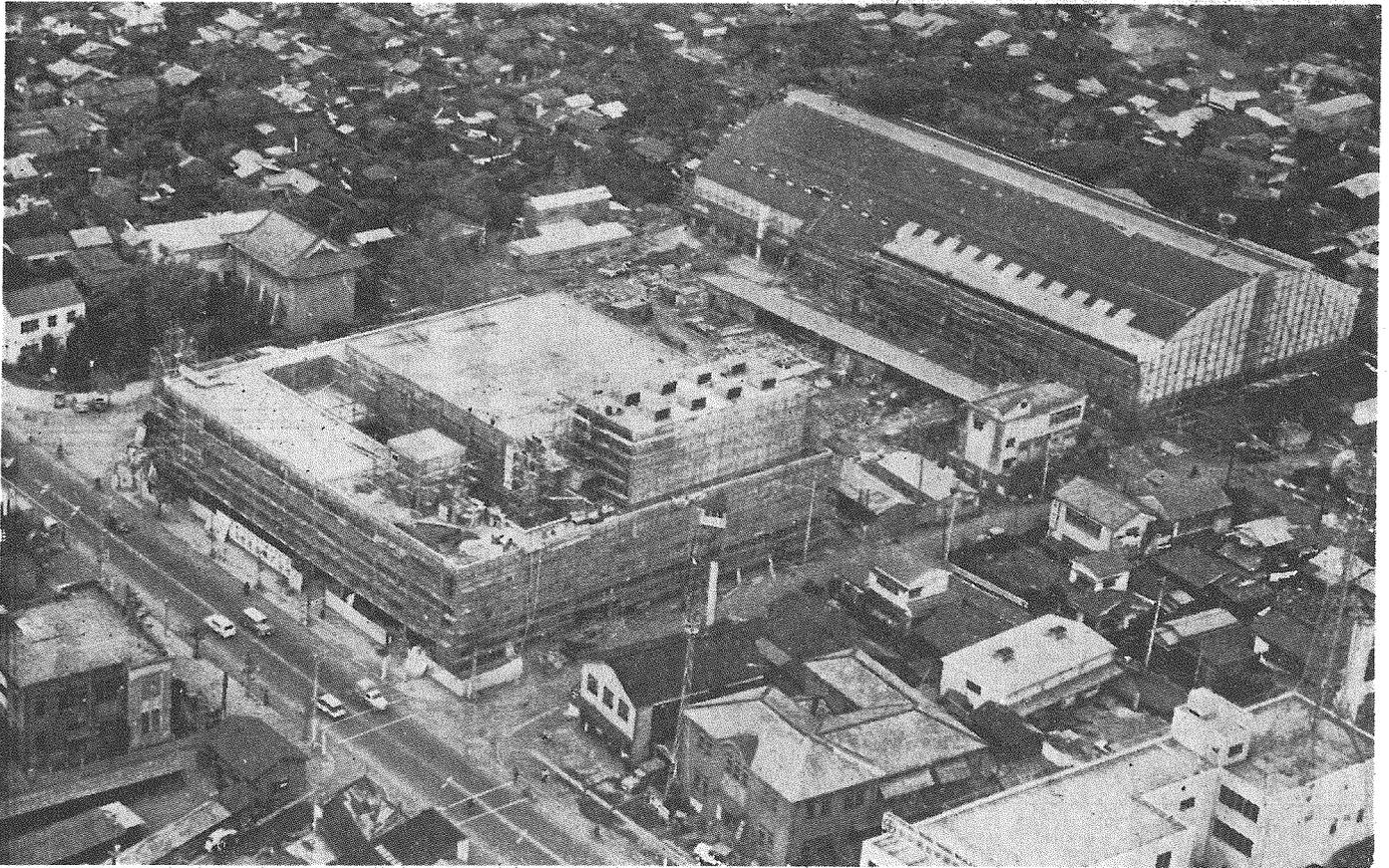


広報ひらつか

昭和37年6月10日・神奈川県平塚市役所発行・編集総務課 (電) 1261-1270
毎月10日 33,100部発行・全世帯配布 (1部5円)・昭和31年10月3日第3種郵便物認可

NO. 127 [6月号]



総工費2億4350万円を投じて今月完成する市民センター(左)と1億3000万円をかけ3年がかりで改装と完成工事を急ぐ見附台体育館。市民センターは7月17日開館、見附台体育館は来年度完成します。昭和7年市制をしてから平塚市はこととして30才、七夕まつりでにぎわう7月6日、市は、市民センターで、市制30周年記念式典と市民センター落成式を挙行します。11万5000人の市民みなさんのものである市政は、30代にはいり、大きく成長しようとしています。

全広研大会 に出席して

先号で予告したことですが、去る五月八日
九日と二日わたって、香川県の徳松市で明
催された第六回全国広報研究会に、わたし
は出席いたしました。

地方自治体のみならず、中央政府でも、民
主政治のありかたを本末のひたひたの懸念を言ふべき、広報活動
を行政の重要なテーマとして取りあげていられるのですが、それも事後
においてなされては困る方法、政治の、または行政の実態を、国
民一般に周知徹底させることになり、関心と批判を自分たちのための
政治に集結させ、反動的に選挙の場を広く開いて、真に明るく、かけ
のない政治、正しく、世論を反映させる行政を、責任ある立場で実施
しようとして、国民なり、市民なり、市民なりの負担にたなる、というわけ
なんです。

むづかしい広報行政の理論的根拠はとにかくとして、わが平塚市の広
報活動は、媒体としての広報単一から二、三号も活躍し、広報委員会
制度もついに実施され、ひとりの「歩く市所」の活動も大いに効
果を挙げましたし、とりわけ「広報ひらつか」は、広報活動の媒
体としては、もつともひろく、活発に、市民の間々々々をおとすれず
し、行政の実を挙げてきておられます。これも申しあげよう、一、広
報ひらつかには市民みなさんが活発に、みなさんが活躍し、みなさん
がよりよい行政のニュー・イメージを推進して下さると、最期のものでは
なけれども、広報ひらつかが地方において表彰された実績、文入
市長という立場からいって、この大会の第一分科会の助言書を
委嘱され熱心な委員会からの報告や質疑について、大いに得るものが
ございました。全国的な大会で、委員者は各地方自治体の広報行政
担当者たち、約千五百名、熱心で、直回自主大会で、委員会が、
それぞれ得るべきものを持ち帰り、広報活動も一だんより力強く推進さ
れることと楽しみに期待されます。

スペースはなくなり残念ですが、みなさん待望の「市民センター」
も、六月には完成いたしましたので、七月六日(土)夕陽(三回)
の市制施行三十周年記念式典はこの大ホールで、ひまわりまつりまじ
りの行事をばじの結が式場をみなさんの御利用に供されるわけです。
向い合った体育館も完成するようになります。改訂で市庁舎で、
これも五千七百坪というひろい敷地が確保されました。

戸川 貞雄

▶ 今月の主な記事 ◀

- △②ページ・市制30周年記念式典七夕まつり開催、軽自動車税過納分払いもどし手続き改正、参議院議員選挙、市議員募集など。
- △③ページ・市民センターの開館と使用方法、恩給受給者に対する融資、参議院議員選挙の入場券配布補充申請手続きなど。
- △④ページ・36年度後期財政事情。
- △⑤ページ・身体障害者慰安激励大会、防犯街路燈維持費補助、市民税前納報償金制度、市民センター結婚式案内など。
- △⑥ページ・市民の声特集(参院選を目前にして)、予防注射の日程、自動車文庫日程など。
- △⑦ページ・愛のともしび新設、母の日大会、37年度健康優良児、いちご立毛品評会の結果など。
- △⑧ページ・商業統計調査ほか。

市長日記



